

2024年3月期の事業概況

2024年6月27日
サンヨー食品株式会社
広報宣伝部

サンヨー食品株式会社（本社：東京、社長：井田純一郎）の2024年3月期（自2023年4月1日～至2024年3月31日）における事業概況は、以下の通りとなりました。

2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	180,307	11.5	50,668	12.6
2023年3月期	161,583	17.1	44,990	14.8

【事業の経過及びその成果】

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動・社会活動の正常化が進み景気は緩やかな回復の動きが見られました。

一方、ウクライナや中東情勢などの地政学上のリスク長期化に伴う原材料価格、エネルギー価格高騰、円安の進行や物価の上昇など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが中核事業を展開する即席麺業界におきましては、消費者物価が上昇し続けていることによる不安感から消費者の生活防衛意識、節約志向が強まっており、引き続き厳しい事業環境が続くことが予想されます。

こうした環境の下、当連結会計年度の当社グループの売上高は1,803億7百万円（前期比11.5%増）、経常利益は506億68百万円（前期比12.6%増）となりました。

【事業の状況】

サンヨー食品株式会社は、主力の「サッポロー番」において創業 70 周年を記念した大型企画の実施や、「減塩」シリーズの発売などにより、ロングセラーブランドの存在感を訴求いたしました。

袋麺では「ご当地熱愛麺」「久世福商店」「旅麺」など、健康や本格感、プライスゾーンなど市場のニーズに幅広く対応した提案を展開しました。

カップ麺では、「カップスター」全品のリニューアルを実施、加えてエリア戦略商品や各種プロモーションも継続展開し、売上大幅拡大を果たしました。「名店の味」「ご当地熱愛麺」「ポケモン」シリーズなどの定番商品群も、活性化策を適時実施し、安定的な売上確保に努めました。「サッポロー番どんぶり」シリーズもリニューアル新発売して好評を得、来期に向けて「カップスター」とともに、大きな成長への期待感を残しました。

これらの結果、当期の売上高は 469 億 66 百万円（前期比 14.0%増）となりました。

連結対象会社であるエースコック株式会社、Sanyo Foods Corporation of America 及び Acecook Vietnam Joint Stock Company 及びその他事業の合計売上高は 1,333 億 41 百万円（前期比 10.7%増）となりました。

中国における持分法適用会社である康師傅控股有限公司の売上は、中国元ベースで前期比 2.2%の増加となり、且つ期末為替レートが前期比円安中国元高となったため、円ベースで前期比 7.1%増加の 1 兆 6,027 億円となりました。

【今後の課題と展望】

国内食料品事業は、少子高齢化・人口減少によるマーケットの縮小傾向、販売チャネルの再編加速などの中長期的課題に加えて、直近では円安の進行やエネルギー、輸送コストの高騰などによる物価上昇を受けた消費低迷への懸念など、先行きが一層不透明な経営環境下に置かれることが想定されます。

当社では、製品の安定供給を念頭に、食の安全・安心に向けての体制強化の継続、品質の向上、消費者視点に立った商品価値の提案、社内のデジタル化と徹底したコスト意識を維持し、持続可能な事業活動を堅実に推進してまいります。

海外食料品事業は、中国、東南アジア、北米、サブサハラアフリカにおいて主要ブランド重点商品のシェア及び配荷率向上と収益拡大、新製品開発及び販売によるイノベーション活動に継続して取り組んでまいります。